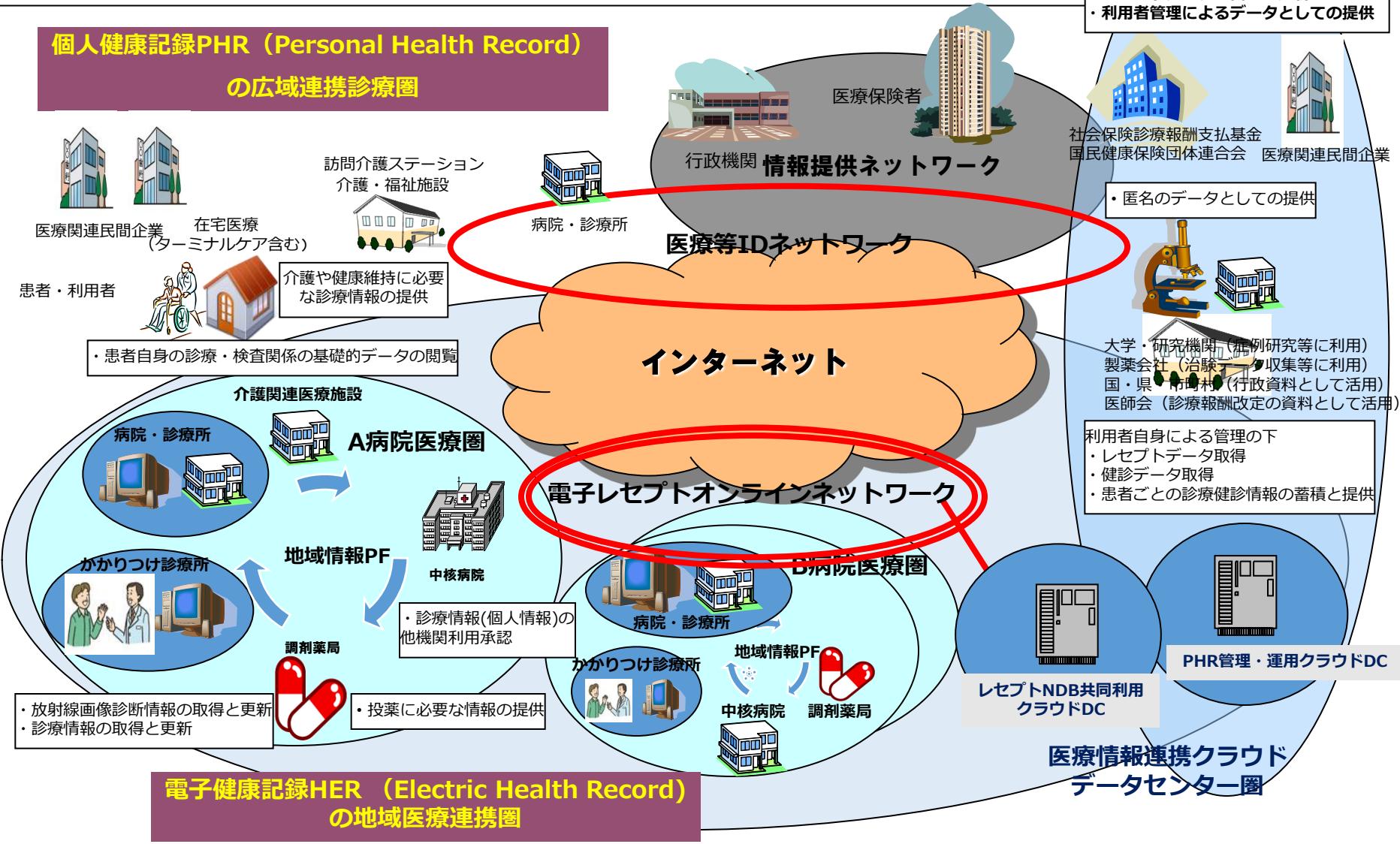


# クラウド利用による医療・健康・介護連携ネットワークシステムの概念（案）

## 現状

- （課題） 介護・福祉施設・訪問外語ステーション等との情報の共有・連携が不十分
- （課題） ITによる連携体制が未整備、他医療機関で診療情報が必要な場合は、その都度、紙媒体で診療情報を提供
- （課題） 電子的レセプトデータの活用が不十分
- （課題） 健康診断データや予防接種歴などが、資格移動時に連携がなくなる

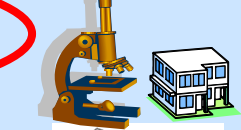
## 個人健康記録PHR (Personal Health Record) の広域連携診療圏



・レセプトデータの蓄積・分析  
・利用者管理によるデータとしての提供

社会保険診療報酬支払基金  
国民健康保険団体連合会 医療関連民間企業

・匿名のデータとしての提供



大学・研究機関（症例研究等に利用）  
製薬会社（治験データ収集等に利用）  
国・県・市町村（行政資料として活用）  
医師会（診療報酬改定の資料として活用）

利用者自身による管理の下  
・レセプトデータ取得  
・健診データ取得  
・患者ごとの診療健診情報の蓄積と提供

レセプトNDB共同利用  
クラウドDC

PHR管理・運用クラウドDC

医療情報連携クラウド  
データセンター圏

## 電子健康記録HER (Electric Health Record) の地域医療連携圏